

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 7 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

・H24/1/4 14:36 第二セシウム吸着装置を起動。14:48 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/5 9:30～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/3 10:01～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・1/7 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (1/7 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位:O.P.+ 3,038 mm(水位上昇累計:4,255 mm) 1/6 7:00 から 99 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位:O.P.+ 3,444 mm(水位上昇累計:4,170 mm) 1/6 7:00 から 219 mm 上昇

◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/7 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.<+ 850 mm (1/6 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,064 mm (1/6 7:00 から 20 mm 上昇)	O.P.+ 4,240 mm (1/6 7:00 から 5 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,180 mm (1/6 7:00 から 23 mm 下降)	O.P.+ 3,153 mm (1/6 7:00 から 22 mm 下降)	O.P.+ 3,296 mm (1/6 7:00 から 17 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,176 mm (1/6 7:00 から 11 mm 下降)	O.P.+ 3,125 mm (1/6 7:00 から 13 mm 下降)	O.P.+ 3,394 mm (1/6 7:00 から 12 mm 下降)
4号機	—	O.P.+ 3,132 mm (1/6 7:00 から 13 mm 下降)	O.P.+ 3,146 mm (1/6 7:00 から 12 mm 下降)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	1/6	8:40	ND	0.05	0.04
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	1/6	8:20	ND	0.03	0.02
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	1/6	8:05	ND	0.02	0.02

・その他、福島県沖合5地点(1/5 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (1/7 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	13.1 °C
3号機	循環冷却システム	停止中	23.9 °C*
4号機	循環冷却システム	運転中	20 °C

※3号機使用済燃料プール代替冷却システムの停止に伴い、至近のデータ(1/5 11:00 現在)を記載。

【3号機】・1/5 11:46 一次系循環ポンプの吸込圧力の低下傾向が継続していることから、当該ポンプ入口のストレーナ交換作業のため、当該ポンプを停止し、使用済燃料プールの冷却を一時停止(停止時使用済燃料プール水温:23.7°C)。

1/7 16:27 ストレーナ交換作業を終了後、同ポンプを再起動し、使用済燃料プールの冷却を再開。

<原子炉压力容器への注水・原子炉の状況> (1/7 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.6 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約1.9 m ³ /h)	25.8°C	26.3°C	107.1 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約0.7 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約9.0 m ³ /h)	49.3°C	51.1°C	108 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.9 m ³ /h, 炉心スプレイ系:約6.0 m ³ /h)	46.7°C	55.3°C	101.6 kPaabs

【2号機】・1/6 10:46 原子炉への注水について、タービン建屋内炉注水ポンプの試運転準備に伴う給水系からの注水配管切替のため、給水系からの注水量を約 0.2m³/hから0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 9.2m³/hから約 9.3m³/hに調整。

11:11 給水系からの注水配管切替作業が終了。

11:25 給水系からの注水量を0m³/hから約 1.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 9.3m³/hから約 9.0m³/hに調整。

1/7 11:53 給水系からの注水量を約 0.5m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 9.0m³/hから約 8.0m³/hに調整。

【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

<その他>

・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5, 6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

以上